

## アリムタ+シスプラチン+Bev 療法

患者番号：&tagPatNo& 氏名：&tagPatName& 性別：&tagPatSex&  
生年月日：&tagPatBirth& 年齢：&tagPatage&

がん種：	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌
薬液注入ルート：	末梢点滴静注、 CVライン ポート
開始年月日：	____年 ____月 ____日
1コース期間：	21日間
体格：	身長 cm 体重 kg 体表面積 m <sup>2</sup>

※アバスチンは扁平上皮癌では使用しない

投与方法	薬剤名	投与量	投与開始日程
点滴	①アリムタ	mg(500mg/m <sup>2</sup> )	1週投与 2週休薬 Day1
点滴	②シスプラチン	mg(75 mg/m <sup>2</sup> )	1週投与 2週休薬 Day1
点滴	③ベバシズマブ	mg(15 mg/kg)	1週投与 2週休薬 Day1

**制吐剤** アロキシ+デキサート注 9.9mg+経口デカドロン (4) 2錠 2×/3日

**【処方が必要な内服薬】**

パンビタン末 1g1× 初回投与1週間以上前から連日経口開始

アプレピタント(125)1T1× シスプラチン開始1時間前

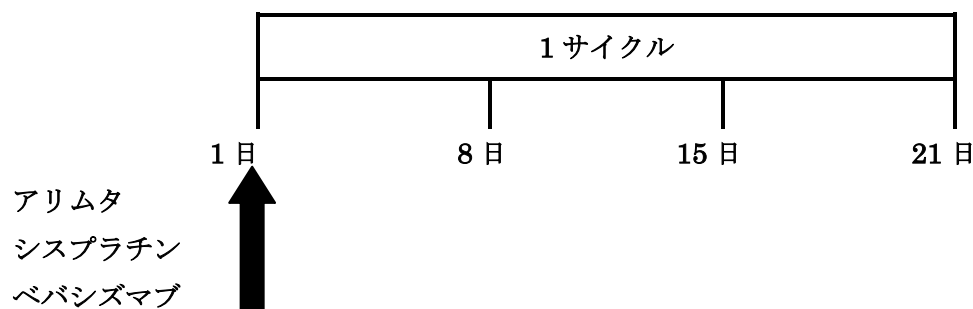
アプレピタント(80)1T1×朝 (翌日開始)

デカドロン(4) 2T2×朝昼 ((アリムタの前1日+翌日～)

<注射>

メコバラミン注 500 2A

(初回投与1週間前から9週ごとに筋肉内投与前日及び翌日)



□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

□HBs 抗原(-) → □HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-)

□HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)

□HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン \_\_\_\_\_